

頌 春



雪の鶴ヶ城 (会津若松市)

電 設 新 聞

発行所
 社団法人
 福島県電設業協会
 発行人 松崎 勉
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設協会館)
 電話 (024)533-6226
 編集印刷 福島タイムズ社
 福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA

明るく、
 スリムで、
 長寿命。



東芝薄型照明器具
ネオスリムV
 東芝ライテック株式会社
 郡山営業所 TEL.(024)922-5511

時代の潮流を踏まえ前進!!

年頭所感



社団法人 福島県電設業協会
 会 長
 松 崎 勉

県民に信頼される 技術・企業集団に

平成十一年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 昨年は、日本経済が低迷する大きな原因として指摘されてきた「金融システム不安」も公的資金投入制度が設けられ、景気回復にもほのかな明るさが見えはじめた中、時代の要請であるビッグバレットづくしま、福島空港二、五〇〇坪の滑走路の供用開始、うつくしま未来博覧会、常磐自動車道の延伸などの明るい話題も散見されます。

公共投資を取り巻く環境の変化、建設市場の競争の激化、受注の減少、不良債権を抱えた大手ゼネコンの相次ぐ倒産、会社更生申請立て、中小零細建設業者の倒産急増、住宅着工件数の大幅な下落、また、業績悪化による事業の衰退、事業規模の縮小、余剰人員のリストラ、加えて価格破壊や過当競争、支払いの遅延など、私ども電設業界は、これまで体験したことのない大変厳しい環境の中において、従来の価値判断では対応できない難しい時代になって参りました。

間近に迫った二十一世紀を視ると、急速な情報化、国際化、国民生活の多様化など、私達の想像もしない速いスピードで進んでおり、マルチメディア時代に対応するインターネット、光ファイバー、ISDNの通信デジタル関連などの弱電分野や自然エネルギーの有効活用、太陽光発電、環境共生の風力発電、コージェネレーションなどの省エネルギー、高齢者に優しい

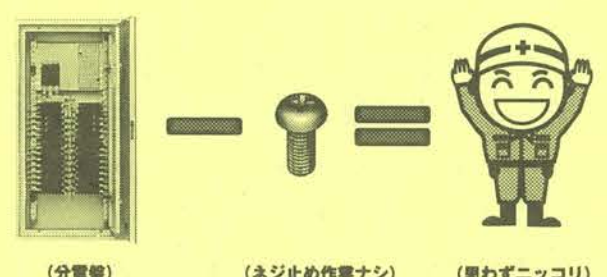
設備、コスト競争力強化のためのVBEの活用など、時代の潮流にあつた新しいビジョンのもとに、思い切った発想の転換と経営の近代化を図り、提案型営業に根ざした強固な「県民に信頼される技術・企業集団」として、高度な技術者の養成、後継者の育成、新たな分野拡大への講習会・研修会の開催、組織強化と業界秩序の安定に努めるよう、決意を新たに邁進して参ります。

私達は電設設備の重要性を認識し、その役割を果たして参りますので、発注者の皆様におかれましては、従来に増して一層のご指導・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

謹賀新年
 本年も相変わらぬご指導
 ご支援をお願いいたします
 社団法人 福島県電設業協会

National 松下電工

新登場!カンタン結線の カンタッチアロー盤。



- 電線を差し込むだけで施工時間は従来の約1/2(当社従来品比)。ネジなしカンタン結線「速結端子」を内蔵。
- ワンタッチで着脱できる「プラグインアダプタ」付。
- 充電部を開いた安全性の高いカバー構造。

業界初の
ネジなし!



○「カンタッチプレーカ搭載アロー盤」に関する資料のご請求は、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工・福島営業所 TEL.(024)939-7731、FAX.(024)939-4777まで。※二次側「速結端子内蔵」、一次側「プラグインアダプタ」付のプレーカを搭載した分電盤で業界初。平成10年4月現在、当社調べ。快速を科学します

した協会活動を展開!

高品質の電気設備を

安全で豊かな県土づくり

長引く不況により、産業界の疲弊、雇用問題の深刻化が叫ばれる中、政府が本腰を入れた景気対策を打ち出すなど、経済活性化に向けた施策に期待が集まることと見られます。県内では、昨年八月に県南地区を中心に中通り一帯に大きな爪痕を残した集中豪雨災害の復旧、景気対策としての公共事業などが予定されており、新しい年、平成十一年は建設業界が地域経済活性化のための最善を尽くさなくてはならない年となるでしょう。本紙は、県土木部都市局管轄課から本間隆課長と叶多清造主幹兼課長補佐にご出席いただき正副会長との座談会を開催いたしました。激動の平成十年を振り返っていただくとともに、今年を展望し電気設備工事業界が直面する問題点や課題についても意見をいただきました。

国内わずかに明るさの兆し

司会 本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。真暗の一年になるかと思いましたが、公共工事の前進、三次にわたる景気対策によって幾分かではあります。初めに松崎会長に昨年の感想と新年の抱負をうかがいます。

松崎会長 新年明けましておめでとうございます。昨年中は、県をはじめ発注機関の皆さんには大変お世話になりました。誠にありがとうございます。当協会九十一社の中で一社の脱落者もなく新年を迎えることができましたことは、ひとえに発注機関の皆さんの暖かいご指導の賜でありまして厚く御礼申し上げます。

平成十年度は、当初、国の財政構造改革を受けて公共事業費7%削減、建設コスト削減、効率性の重視などという厳しい中でスタートしましたが、暗い話題の多い中でも福島空港の二千五百メートル滑走路供用

会員一丸となって邁進

松崎会長 新年明けましておめでとうございます。昨年中は、県をはじめ発注機関の皆さんには大変お世話になりました。誠にありがとうございます。当協会九十一社の中で一社の脱落者もなく新年を迎えることができましたことは、ひとえに発注機関の皆さんの暖かいご指導の賜でありまして厚く御礼申し上げます。

平成十年度は、当初、国の財政構造改革を受けて公共事業費7%削減、建設コスト削減、効率性の重視などという厳しい中でスタートしましたが、暗い話題の多い中でも福島空港の二千五百メートル滑走路供用



松崎会長

景気対策事業の効果で事業量を確保

私どもの協会全体を見ますと、県から中小事業者に配慮された発注をいただき、一部の支部に落ち込みはあったものの、相対的には非常に助けて頂いたという実感がたします。また、相当な危機感を持ってスタートした年でしたが、三次にわたる補正予算で景気の底が見えたといい話も聞かれるようになり、新年に期待が持てるようになりました。

入札制度改革が本格化

本間課長 明けましておめでとうございます。まず一月には、県の公共工事コスト削減行動計画が発表されました。これは、近年の厳しい財政事情の中にあつて、公共事業の執行方法への改善を請、投資費用に見合った経済効果への期待、建設コストの高価格化の指摘などが背景となったものですが、半年以上に及ぶ検討結果を踏まえ策定されたものであります。「工事の計画・設計の見直し」、「工事発注の効率化」、「工事構成要素のコスト削減」、「工事の実施段階での合理化」の四分野を基本として項目別に各種の施策を展開することとしており、建築関係では、各種施設設計V E、モデルとして実施した入札時V E方式及び契約後V Eなどを通じて次第にその成果が出始めてきています。

公共工事関係諸制度が大転換の一年

昨年、公共工事に関する諸制度の大転換の年であったように思います。代表的な例を時系列順にお話し

人々が等しく参加できる社会の構築

次に、新年に向けての抱負ですが、建築関係団体の研修会や講習会の際、私がいつも話している話題のひとつ、新鮮には聞こえないかも知れませんが、二十一世紀を直前に控えた中で、県民のニーズやそれに沿った営繕行政の取り組みを課題として、毎年毎年変わるものであってはならないし、継続して実施してこそ、その要請に応えるものだと思います。改めてその趣旨や取り組みについてお話しします。

将来に継承し得る質の高い建築空間

第二は、建築景観の推進であります。これまでの国民の勤勉な努力によって、経済は成長し所得・資産と

新春座談会出席者

- (敬称略)
- [県土木部都市局管轄課]
 - 課長 …………… 本間 隆
 - 主幹兼課長補佐 …… 叶多 清造
 - [社] 県電設業協会
 - 会長 …………… 松崎 勉
 - 副会長 …………… 佐藤 春雄
 - 司会 …… 秋吉 政則 専務理事

建築・設備積算の一大改革が現実になり

七月には、建築・設備工事の設計数量の公開がなされました。公共工事の積算については、これまで積算体系、積算基準等を公表し、県発注工事の積算システムを明確化を図ってきたところでありまして、加えて補修工事のように積算段階において把握数量の異なる恐れのあるものについては他県に先駆けて設計数量を明示してきました。さらに、一定規模以上の新築工事については、主要部材の数量明示を行ってきましたが、七月からは新築、増改築、補修工事といった全ての建築・設備工事について数量明示をして透明性向上を図っています。

また、十二月には部材単価の一部を公表しました。県が物価調査会等に委託して設定している部材単価の一部についても公表することといたしました。今後は、建設物価版等に明示がないもので県独自で設定する部材単価についても、逐次、追加公表を行っていくことになると思われま

も世界有数の水準に達しましたが、今後は高齢化の進展により労働人口(生産年齢人口)の減少や貯蓄率の低下が予想され、投資余力が減少し、経済成長率の低下も予想されます。いわゆる安定的な成熟した社会への移行です。したがって、この成熟社会を迎える前に重点的な公共投資を行うと共に、地域の持つ自然、伝統、文化、産業などの特性を活かして、将来に継承し得る質の高い建築空間の整備を図る必要があります。

第三は、安全で安心できる建築の整備・改善です。日本は、世界有数の地震国でもあり、耐震技術も高度化していますが、先の阪神・淡路大地震で技術者は信頼を失いかけています。この大地震を教訓として、安全で良質な建築物のストック形成を図る必要があります。二十一世紀を迎えるに

変革の平成11年 新春座談会

地域に根ざ



本間課長



あたって、改めて望ましい都市居住の在り方を追求し、土地の有効利用や環境空間の整備を通じて、安全で快適な都市居住の再構築を図る必要があります。

第四は環境と共生する施設の整備です。地球温暖化防止や環境に対する負荷を軽減して、かけがえのない地球環境を保全するために、石油、天然ガスなどの化石燃料使用の削減や太陽熱等の自然エネルギーの活用、水環境や廃棄物のリサイクル等を推進した施策の展開が求められています。

環境を守ることは、その重要性に鑑み施策を推進

する立場からも整備する施設の利用、規模、ライフサイクルコスト(LCC)等を勘案して積極的にその導入に努めていかなければなりません。公共建築物の生涯コストの内訳は、建設費一

で、多角的に検討する必要があります。電気に関係するランニングコスト削減では、設計段階において、照明配置のゾーニングの細分化、光センサーを設けた照明制御のシステム化、太陽光利用の発電システムや深夜電力の利用等を行うことにより、効果的に経済性の追求ができると考えています。

限られた財源を有効活用し事業推進

第五にコスト削減施策の推進が挙げられます。公共事業を取り巻く社会環境は厳しさを増しており、今後の社会資本の整備において

は、限られた財源を有効に活用し、公共工事の効率化や重点化に視点を据えた建設コストの一層の削減が求められています。県では昨年一月に「公共工事コスト削減行動計画」を策定し、実施スケジュールに沿って行動していることは先にお話ししたとおりです。電気設備関係では、設計のV/E、設備機器・配管等の集合化やコア化の推進、汎用既製品の採用(例えば、電灯分電盤や受変電盤の市販品採用)、施工方法の改善(安全確保を図りながら無駄の排除)などについても可能な限り実施しております。

高度化と多様化が一層進んだ1年間

司会 どうもありがとうございます。叶多主幹はいかがでしたか。

叶多主幹 明けましておめでとございます。本年もよろしく申し上げます。昨年、県内各所を襲った集中豪雨、特に県南西部を襲った集中豪雨の災害時には、会員の皆様をはじめ、各業界の皆様からお手伝いを頂きありがとうございました。この席をお借りしまして心から感謝申し上げます。

や情報伝達などの新技術や技法の波が押し寄せ、新たな品質管理の対応のあり方が問われております。さらには、課長の話にもありましたが、透明性・競争性

・客観性が具体的に打ち出された年でもありました。その結果、これまで秘密とされてきた公共工事における予定価格の事後公表、参考数量や資材単価・労務単価の一部公表が行われるようになった。

また、絶対に安全であると言われてきた銀行や証券会社の相次ぐ倒産や合併は、今まで考えられなかった現象であり大変驚いていますが、皆様方の企業にとっても経営方針の見直しなどをされたところもあるのではないかと思います。公共事業の進め方においても事業の合理化・効率化が求められ、コスト削減行動計画のもとに皆様の協力を得ながら、現在、本格的な試行に努めているところで

その一方で、環境保全の観点から省資源化の推進、資源の利活用と共に環境汚染等に対する関心が非常に高くなってきました。私達に関係するものとしては、ダイオキシンの二酸化炭素・PCBなどに起因する諸

営繕事業は前年並 大型施設の発注も計画

松崎会長 これまでは、県工事における建築の事業量がある程度水準にありましたが、今後の見通しはどうか。大変気がかりなところですが、

本間課長 まず、大規模工事については、継続事業として昨年来建設を進めてきた、県立医大看護学部棟、県民の森オートキャンプ場や産業交流館(ビッグ

グレットふくしま)が完成を迎え、現在、海洋文化学習施設、女性総合センターが工事に入っておりますが、今年度は新たに会津若松市に計画しておりますハイテクプラザ津若松支援センターをはじめ白河市に計画しております埋蔵文化財センター等々が発注される予定であります。それと並行して郡山合同庁舎改築整備、農業総合センター整備、大野病院や消防学校の改築整備など相当規模の建設の基本設計・実施設計が

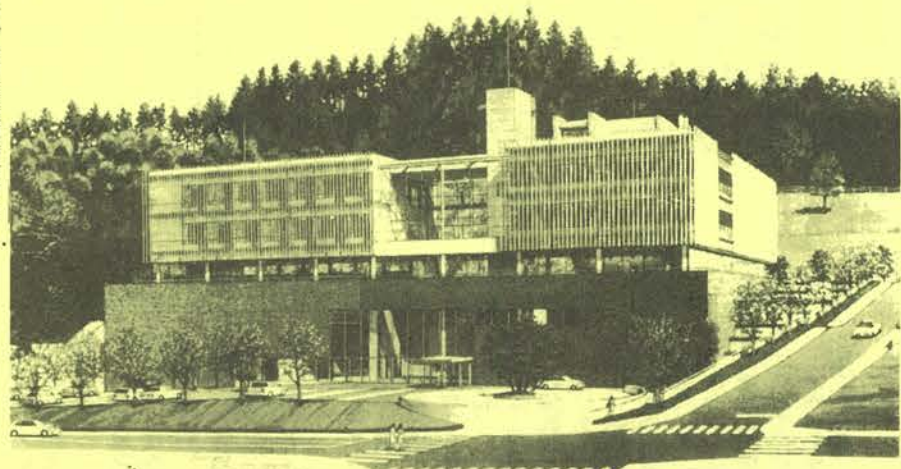
進められておりますので、近い将来、急激に事業量が落ち込むことはないと思います。

松崎会長 大規模工事は、かなりでなく、県内まんべんなく事業を計画されていることは大変ありがたいことだと思います。平成九年度は、来年度の全体量はいかがでしょうか。

本間課長 現在、予算査

地元業者活用による 地域経済の活性化を

定が行われている最中なので、はっきりとしたことは申し上げられませんが、顕的に落ち込むのではないかと考えます。平成九年度は、受託・営繕関係で過去最大の受託工額である四百十



工事が本格化する(仮称)女性総合センター

億円のスタートでした。平成十年度はスタート時が三百七十億、そこには経済対策に伴う補正などが加わりまして二十億程度上乗せになりましたので、三百九十億円になっております。新年度は、その額までは到達しないと思っております。しかし、これらは総額の話でありましてその中には大規模事業の予算も含まれておりますから、それを除けば額は多少小さくなりますが件数は昨年と大差はないと思っております。

松崎会長 件数が多くなると発注業務が膨大になり、大変だと思えますが、従来通り地元業者活用による地域経済活性化に向けたご配慮をお願いしたいと思います。

【次頁に続く】

管理面を重視した研修

上級管理者のレベルアップ

【前頁からの続き】
 司会 それでは、次に技術向上を話題にしたいと思います。当協会では、優れた施工技術と施工能力を活動するために、技術委員会を中心に事業を進めてきております。その一環として、工事施工体験発表会では現場の第一線に立つ技術者が自らの施工体験をみんなの前で発表しておりますし、ユラックス熱海で開催しております技術講習会では、初歩の人から中堅までを対象に研修を行っております。そして今年度より一級施工管理技術資格を持つている各社のトップクラスの管理技術者を集めて上級者研修会を開催して、施工要領と施工管理を研修しました。受講者が自社にもって指導することをねらいとしております。そのほか、中堅技術者研修会や現場研修会も行っておりますが、今年度からは、平成十

三年度には郡山市のビッグパレットふくしまで開催が予定されております技能五輪全国大会に向けた出場選手育成策として、昨年十一月に行われました技能五輪世界大会に向けた国内予選を視察し、その結果を集計している最中でありまして。我々は、施工技術が進んでいる中において、遅れないように会員のレベルアップに努めているところであります。その点について佐藤副会長をお願いいたします。

大手企業に遜色ない マネジメントを実現

佐藤副会長 技術向上に向けた事業は、協会設立以来続けてきているわけですが、昨年は上級管理者の研修を是非とも進めたいということと、ビッグパレットふくしまで研修会を開いたわけですが、協会としては、これまで施工技術のレベルアップを中心に研修計画を立ててきたわけですが、大

手企業に遜色ないマネジメントを実現 安全対策、環境対策、それに近隣の住民に対する配慮でありますとか、総合的な管理の向上を図るために一級施工管理技術士として現場を熟知し、現在は管理職にある職員のレベルアップを目指しました。上部団体である日本建設工業協会から講師を迎えまして研修を行いました。今年度はさらに実のあるものにしていただきたいと思っております。 松崎会長 当協会は、技

術講習会や工事施工体験発表会等々におきまして、県の方には、公務員多用の中、その都度気持ちよく講師を務めていただき技術力の向上に役立っております。紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。 佐藤副会長の話にもありましたように、大手さんとの比較において管理面が課題であると思っております。昨年からは、上級者研修を開きました。手探りではじめたものですが、満足できるものではありません。電設業協会では、講習会や研修会の開催、さらには工事施工体験発表会を設営するなど、会員の皆さんの資質向上に努めております。県でも現在、共



第一回上級者研修会(ビッグパレットふくしま)

通・特記仕様書や積算基準の改訂作業を行っており、来年度早々には説明会開催の運びとなりますので、その節には会員の方々の受講についてご配慮をお願いいたします。

よく地元事業と大手企業も技術が基本であり基本に忠実なことが一番大切で、そして、その技術をベースにした現場の運営・管理が一体的に展開されること、重要ではないかと思っております。電設業協会では、講習会や研修会の開催、さらには工事施工体験発表会を設営するなど、会員の皆さんの資質向上に努めております。県でも現在、共

て総合力を発揮できる体制が整っているように思いますが、規模や特殊技術に応じた技術スタッフを配置できる能力を持っているのも大手企業の特徴であると思っております。 地元企業にも優れた方々が、さらに能率的な段取りや調整力、工程を守る技量が、さらには...

や技術を支える総合力を養う必要があるので、大いに共同企業体などに参加し、大手企業のノウハウを勉強することで総合的な判断や実行のできる人材を輩出できたら素晴らしいことだと思っております。 司会 本間課長さんいかがですか。 本間課長さん いろいろと、現場責任者に対する社内での支援体制の差だと思っております。

知識の習得と実践

企画・判断・審査に重点

本間課長 技術力の向上においては、何はさておいても専門知識を習得することと豊富な実践、経験を持つことが大切だと思っております。

専門知識の習得では、電設業協会が実施されている研修会や講習会に積極的に職員を参加させることが必要であると思っております。合わせて職員一人ひとりが意欲を持って仕事ができる職場環境を整えることも大事

だと思っております。また、知識の不足を補うためには、職員の自己研鑽が前提条件となるわけですが、それを支援できるような体制整備も考えなくてはなりません。

松崎会長 生産性の問題ですが、例えば一つの工事を受注した場合、我々が十人の作業員(電工)を派遣して施工(工事)をした場合、我々の十人の請求に対して、十人の作業員のうち数人は一の施工能力は十分あるが、そのほかは〇・七程度の施工能力しかありませんので、私の方ではそういう査定で支払いをします。大変厳しい労務管理をしているのです。それからV Eなどは、ありきたりのものではなくて、その場の状況に合わせた案がすぐ出てきます。

が検討するよう指示をしたのですが、電話が通じにくいなど通信事情が悪く、かなり苦労して連絡を取りました。実際には、郡山支部の皆さんに現地へ行ってもらう状況把握し対応を検討したのであります。私どもの

関係では、やはり電力会社の外線関係の被害が第一でありまして、まずこの対応を行いました。

幸いにして、県南の水害については県の県南建設事務所さんとの連絡・調整により迅速な作業ができました。大きな障害もなく復旧が進みました。今後の対応策についても、指示がありまして早速に対応したいと思っております。

V Eを含めた生産能力の開発が避けて通れない問題でありますし、これなしに経営の安定は実現できません。課長さんのご提言も受け止めていきたいと思っております。

司会 我々専門工事業だ、課だけでも対応できないところは動ききれない、営繕とだと思っておりますが、業界と

しては建運連というシステムを使って考える必要があると思っております。県とのパイプはどのようにな形にすれば良いのでしょうか。

叶多主幹 官庁の施設は、災害時の応急施設として重要な位置づけをされていることが多く、建築物ばかりでなく電気や機械設備も含め、壊れにくく造ってありますが、このような施設と皆様方の活動との接点をどのようにつけて行けばよいかといった内容の見直しを行うことによって、何

し、工夫を加えて自社のものにするかだと思っております。端的にお話しすれば、現段階において作業能力は大手も地元も同じです。違いは、業務を的確に処理する企画力、審査能力、下請け職方への指示力・指導力と、現場責任者に対する社内での支援体制の差だと思っております。

守れ!

防災体制

協会の使命を再検討

情報網構築が当面の課題

司会 それでは、次の話に移ります。昨年は集中豪雨などにより、本県は何度か水害に襲われました。中でも八月二十七日からの水害では記録的な被害が発生しましたので振り返ってみたいと思っております。

司会 それでは、次の話に移ります。昨年は集中豪雨などにより、本県は何度か水害に襲われました。中でも八月二十七日からの水害では記録的な被害が発生しましたので振り返ってみたいと思っております。

8・27水害時には通信事情が悪化

通信事情が悪化

松崎会長 県南地方を襲った集中豪雨の際には、地元の白河支部と連絡を取り合っており、対応はスムーズに

松崎会長 県南地方を襲った集中豪雨の際には、地元の白河支部と連絡を取り合っており、対応はスムーズに



佐藤副会長

災害時・非常時の官民の連携を模索

課だけでも対応できないところは動ききれない、営繕とだと思っておりますが、業界と

ライフラインを



大きな被害となった堀川と阿武隈川の合流点(白河市)

かが始まるような気がしますが、また、防災体制の整備に關しては電設業協会ばかりでなく、他の団体の方も考へておられると思います。先程、建産連のシステム化というお話がありました。県が建産連と直接協定を結ぶことも必要であると考えますが、各団体ごとの対応をどうするかという問題もあるのではないのでしょうか。どの建築物が防災拠点となり、あるいは避難・救援施設になるかを一つひとつ確認し、刻々と変わる状況や人の動きを勘案しながら情報網を構築していく必要がありそうです。

松崎会長 電気設備といふのは、非常に水に弱いんですよね。そのためには、

災害を予想しながら緊急体制を敷く必要があると思うんです。公共施設に關しては、自社で施工したところ關しては、立ち入り許可をいただいて見回りを行います。緊急の場合、状況に

葉多主幹 官庁施設は、電気設備を含めて一体的な形で災害に對応できる建築物でなければいけないと思います。今、そうした施設づくりができるような素地をつくっていくこととして

松崎会長 そうですね。気象情報が進んできましたから台風などの進路や到達時刻、河川の水位などは、以前に比べてずいぶん詳しく判るようになりました。それで、この状況では送電

電気設備を守る体制 適宜な判断が重要に

災害の拡大が懸念される非常時には、内容にもよりますが、会長さんの話されたような適宜の判断も非常に大切ですね。そのため、災害に對する姿勢として、官民の別なく、災害に對する知識を持ち、かつ施設の内容を熟知した技術者の判断を優先することもひとつの方法であると思

本間課長 その辺の整理は難しいところですね。今までは、被害が起きてから早期に復旧するにはどうすればいいか。その時にどれくらいの予算でできるかという事後の処理対応でした

被災状況の把握に一役 専門工業者が調査

本間課長 その辺の整理は難しいところですね。今までは、被害が起きてから早期に復旧するにはどうすればいいか。その時にどれくらいの予算でできるかという事後の処理対応でした



葉多主幹

した手続きさえ間に合わないようになってくる場合は、暫定的に緊急の処理対応もしますが、その概算費用を短時間でつかむのですから容易なことではありません。被災箇所が多ければ、担当者だけではつかみきれないし、そこそ専門工業者の方々を協力をお願いしなければいけません。昨年の豪雨災害では、本部をはじめ協会支部のご支援によりスムーズに動いていただいていたと思っています。

また、これらの対応は、

緊急時の受け入れと 施工体制マニュアル

阪神大震災を教訓に、建築の場合は被災した建築物が安全かどうかを技術的に判断する者を養成する制度と

出動体制を明文化 管理面と併せて検討

佐藤副会長 我々が、市民としてお役に立ちたいと考えるならば、必要最小限の出動態勢に關する申し合わせを業界団体間や県と行う必要があると思

本間課長 土木関係では、防水体制がありまして、気象台が発表する風雨に関する予報の危険度合いによって、段階的に警戒態勢を敷くことになっております。災害の発生が予測され、警

戒体制が進んだ時には、関係業界にも待機をお願いするということもです。建築の場合は、管理する公共施設の相違もあり応援の受け入れ態勢が整ってはおられません。しかし、その

松崎会長 電気設備の中で注意しなくてはならないのは、自家発電機だと思

新しい年の初めに当たり、県民の皆様の御多幸を、相次ぐ水害や土砂災害心からお祈り申し上げます。また昨年夏から秋にかけて、景気回復に向けて過去最大の大規模補正予算を編成してきたほか、県立医科大学看護学部開設、「フォレストパークあだたら」オートキャンプ場や大規模コンベンションホール「ビッグパレットふくしま」のオープン、福島空港二千五百メートル滑走路の供用開始とともに、被災施設の早期復旧など、二十一世紀に向けた旧や今後の防災対策に総力をこめて取り組んでまいりました。これもひとえに、県民の皆様への御多幸と、御支援助、御協力の賜と深く感謝申し上げます。



福島県知事 佐藤 栄佐久

美しいふくしまの 創造を目指して

な変革期を迎えている中で、私は、時代の変化に對しながら二十一世紀の新しい生活圏「美しいふくしま」の創造を目指して、各種施策、事業等を着実に推進してまいりたいと思

21世紀の新しい生活圏 美しいふくしまの 創造を目指して

福島の皆様への御多幸と、御支援助、御協力の賜と深く感謝申し上げます。

一度災害が発生すると、当然のことながら公共施設を管理する者は、復旧費用を被災に際しては、まず復旧のための概算をつかんで予算を

復旧に向けた調査 設計をスムーズに



昨年8月27日の水害(須賀川市内)

して応急危険度判定士が創設されたり、被災者に仮設住宅を提供するときに資材の調達を優先的に認めるよう、プレハブ建材協会と県が協定を締結したり、労務の提供という観点からは、建設業協会と覚書を交わすなど危機管理の対応は整ってきております。

設備関係の団体においても、緊急時における受け入れ態勢や施工体制が支部の合意の下にマニュアル化される必要があると思

準備は急がなければならぬと思っております。加えて建築のライフライン関係のほとんどは、天井裏や地中と言った具合に目に見えない場所にあるわけですから、図面をきちんと整理しておかないと適切な対応が困難となります。「当たり前のことを当たり前にする」これが大切な点です。

松崎会長 電気設備の中で注意しなくてはならないのは、自家発電機だと思

本間課長 今回の豪雨は、防災システムを見直すきっかけになるでしょう。全国でもそうした取り組みはありませぬから福島県でやりましょう。

協会 協会の六支部が機動的に動けるシステムづくりを考えたいと思

フォーラムで啓蒙活動

文化の伝承を軸に開催

第6回国際交流フォーラム

【前頁からの続き】
 司会 それでは、第六回国際交流フォーラムについてご感想を伺いたいと思います。

佐藤副会長 今回のフォーラムは、テーマづくりから実行委員が大変苦勞されたと思います。第一回は空調衛生工事業協会が単独で実施しましたが、第二回目からは当協会との共催となりまして、第三回までは建築設備に関係したテーマ、第四回からは、ソバなど福島の特産品や水環境などをテーマとしました。

外国人の提案を受け 企画・構成づくりを

司会 今回は、最初は国際課の外国人に入っていた企画から参加していただき、日本は日本の意見を出し、外国は外国の意見を出すというところから始まりました。設備という枠も完全に外れて、外国人にやりたいことに関する案を出していただくことから始まりました。今まではパネルディスカッションを



第6回国際交流フォーラムには8カ国から参加

叶多さんいかがでしたか。

伝統や文化に目を向けながら成熟

叶多主幹 「継続は力なり」という言葉があります

が、電設業協会と空調衛生工事業協会に所属する方々が、毎年趣向を凝らして六年間も続いたということ、敬意に値するものであり、出席された外国人からも今後も続けていきたいという感想が聞かれたことは素晴らしいと思います。

電気設備業という専門分野を離れて、伝統や文化に目を向け、皆様方の国際的な視野がどんどん外に向け

していましたが、これをやるためには相当勉強をしなければなりません。参加される外国人の中には日本語が分からない方もおられましたので、「何かをつくって楽しめばいい」という結論に達しました。テーマの選定についても最後まで決まりませんでしたから、参加者全員で決めました。

地位の向上と国際感覚を磨く事業

松崎会長 今までのフォーラムの中でも一番盛り上がったのではないのでしょうか。次年度から開催を

あきらめようかという気持ちには薄らいできました。電設業協会にとっても大切な行事として業界の地位向上を図るためにも今後とも必要だと思えます。

外国人の皆さんは、いずれ自国に帰られるわけですが何よりの土産話になったと思いますし、日本への理解を高める点において、我々業界が微力ながら協力できたものと思えます。

公共建築の将来探る

盛況だった市民フォーラム

司会 昨年十二月五日には、市民参加による公共建築市民フォーラムが福島市で開催されましたが、いかがでしたか。

松崎会長 聞くところによりますと、営業課の皆さんも勤務外の時間をつかって準備に当たられたそうです。ご苦労があったのではないかと思います。

本間課長 第六回国際交流フォーラムと日時が重なってしまい、参加いただけなかったと思いますが、少し長くはありますが紹介させていただきます。

公共建築市民フォーラムは、まちづくりの重要なキーワードである公共建築に焦点を当て、公共建築がこれまでも果たしてきた役割、現在の在り方、表現可能な住民主体による公共施設の管理・運営等について行政、専門家、市民が共に考え、今後の公共建築の整備に活かして行くことを目的に開催されたものです。

このフォーラムは、二部構成になっておりまして、午

実行委員の皆さん、ご協力いただいた皆さんに感謝致します。

本間課長 国際交流は、ふれあいが必要だと思えますね。親近感を持っていただくことが大きな目的になると思えます。

ふくよかな判断力
 叶多主幹 技術の追求と同時に国際性を養うことは、各人の判断力をふくよかにしていくのではないかと

と意思です。

松崎会長 人間が腹の底から笑うときは、愛想笑いをするときは違うと思うんですよ。三春のひよっこ踊りの時は、参加者みんなが腹の底からこれ以上笑えないくらい笑っていたと思うんです。非常に印象に残りました。腹の底から笑える時はめったにないと思うんです。また、やらなくてはなりませんね。

司会 準備にあたられた

前の部は「福島市の公共建築の取り組み」、「建築家の視点で見る公共建築」と題する講演会、行政、学識経験者、建築家による公共建築研修会（パネルディスカッション）、またなか探検隊による公共建築見学会を行いました。

講演会では、スライドを通して「建築は時代とともに見方が変化している。現在では、建築本体の機能性の追求から、街をどうとらえて景観形成に結び付けるかに変わってきている。建築やデザインの本質はもはや最高の水準まで達していることから、今後は街をどうとらるか、景観との整合性をどのように図って行くかが課題だ」とする説明がありました。

パネルディスカッションでは、学識経験者から「公共建築が地域に溶け込むには、地域の住民から愛着をもって活用されるのが必要だ。戦後、地域の学校などには地域の人々がお金を出し合うことでその建物を

国際課の皆さんは、なかなかスケジュールが取れないのですよ。日程を変更していただいて、前もって日時を決めて準備を進めたのですが、来年はどういう形にするか見当もつきませんけれど、県の皆さんは個人資格として参加しやすいものを企画できれば良いのではないかと、良いアイデアが出る時と出ない時があるりますし、難しい面があるのではないかと思います。

社会正義を実現する 公共建築の役割を確認

公共建築とは、税金を主とした公の資金を投じて建設されるもの、民間建築と異なり利潤の追求を第一義とし兼ねるもの、市民・住民への公共サービスを主たる目的としたものでありまして、従来の公共建築は正にこのような観点から計画され、設計され、建設されて

「公共の利益」、例えば、高齢者、身障者等に対するバ

えら」をテーマに意見交換を行いました。

市民からは「構想が不十分、施設管理者・建築のプロに加え利用者のプロの声を聴くべき」、「行政側の施設に対するPR不足、どんな施設でどんな機能があるか分からない」、「一度建築してしまっただけでは、何度言っても改善してくれない」、「豪華一点主義でなくとも、身近なところに身近な施設を」といった辛口の意見が続出しました。参加した学生や会場からは「ともすれば行政は敵、市民は味方といった構図になりがちだが、行政がつくり、市民が利用するのではなく、共に造る」といった思想が大切、「専門家と行政、利用者が集まって話し合う場はこれまでなかった。今後継続を」といった意見も聞かれました。

公共建築市民フォーラムの概要は以上の通りですが、次に公共建築のあり方、県の取り組みについて申し上げます。

きました。言い換えれば無駄なく、効率的で、機能優先の建築として建設されてきた訳です。現在、公共建築の役割は見直しが求められておりまして、効率性の追求や消費財としての建築としてではなく、市民に愛され、利用されながら、次の世代に受け継がれるべき公共的資産としての役割に加え、リーディングプロジェクトとしての役割も併せ持つております。例えば、民間建築の場合、建築物は他の消費財と同様に経済活動の尺度として採算性を第一義に考えて建てられる例が多いのですが、経済活動の尺度で計測不可能な「公共の利益」、例えば、高齢者、身障者等に対するバ

市民参加型



公共建築市民フォーラム

「リアフリー」の建築や採算が見込めない省エネルギーや自然エネルギーを活用した建築は公共で実現しなければなりません。大上段に構えて言うならば、「社会正義」を公共の場で実現するということ役割を担っているとも言えます。また、リターン（余分なもの）の確保という役割も持っています。この視点は阪神・淡路大震災以降、活発な意見

公共の福祉に立脚し 景観を考える姿勢で

また、景観としての建築の持つ役割も重要です。成長至上主義の中では、公共の精神、美的感覚の欠如が指摘されて久しいですが、自分の私的な領域の中では何をしても自由であり、他人に何かと言われる筋合いはないと言った個人の権利主義が先行視されて、公共の福祉とか公共の秩序とか言った観点からの景観論は後回しにされてきました。

キーワードは… 永く生きる建築

懇話会の回を重ねた結果、「永く生きる建築」をキーワードに安全性、機能性、快適性、地域性、環境、創造性の六つの観点から計画立案しようということになりました。安全性の観点では、防災拠点としての計画・配慮、安心感を彷彿させる構造形式。機能性では、利用しやすい計画・配慮、施設のフレキシビリティ、メンテナンスのしやすい計画。快適性では、使う立場に立った計画、バリアフリー理念の導入。地域性では、地域文化の配慮、地域の核・役割の確保、シンボル、またはランドマークとしての整備。環境としては、環境共生としての配慮、エコシカルプランニングの計画、省エネルギー、リサイクル計画。創造性の観点では、愛着や誇り

が展開されましたが、地震や火災などの非常事態が発生したとき、シェルターとして機能するのは民間の建築でなく、公共の建築や空間であります。そのため公共の建築は民間の建築に増して建築の安全性、耐震性、非常時に対応する機能を備えなければなりません。つまり、本来の機能とは別の価値を持つ複合目的施設としての位置付けが必要になってきます。

市民の声や評価を 事業に反映される

しかしながら、これまでの公共施設は、計画から建設までの時間的制約、予算的制約などから造る側の論理だけが先行して建築されてきました。それにはそれ相対の理由があるのも事実ですが、公共建築の用途によっては使い手である市民の声や利用者の評価を事業に反映して行くことも必要であります。特に時代の要請が日々変化している現状においては多様なニーズを持つ市民の声を聴くことは重要なテーマとなっております。

運営面を考慮して

運営面を考慮した視点も必要です。メンテナンスは施設が完成したときから始まります。本来、建築は計画や設計段階からLCCを念頭にいたコスト管理が必要ですが、現実には、いろいろな思惑が動いて思うに任せません。最近、地方においても施設が大型化してきていますが、大規模であればあるほど、用途が特殊であればあるほど、運営面での維持管理が容易ではありませぬ。県では、平成六年に「つくしむ福島公共建築懇話会」を設置して、公共建築のあるべき姿、その手法、取り組み姿勢等について検討してきています。懇話会の構成メンバーは、建築デザイン・建築計画の立場から大学教授を含む学識経験者、造る側の立場から地元的设计者・施工者、使う側の立場から施設管理者・商工会議所からの推薦者・ジャーナリストからなっています。

垣根を超えた関係

このアクションプログラムに沿って既に実施しているものも幾つかあります。そのほとんどはこれから実践しようとするプログラムです。人と共に生きる、地域と共に生きる、環境と共に生きる、その歴史と共に生きる、風土と共に生きる。そして広報・啓発活動では、公共建築設計展、シンポジウム、見学会の開催等々であります。

厳しい時代に対応 できる技術と人材

また、健康者と身障者の施設利用に対する見解の違いなどについても参考となる意見を聞くことができた。多くの人の意見を聞きたいという気持ちは、行政の中にも強くあります。普段から発注官庁と市民の方々と業界団体との間に上

に生きる、使う側の人と共に生きるといった共生理念が、「永く生きる建築」に結び付くものと確信しております。

今回のフォーラムは、官民の垣根を超えて公共建築を造る際に市民と行政が対話するシステムづくりを考えるきっかけとして大変有意義だったと思います。公共建築協会から助成金をいただいたり市民と共に実施した手作り企画でしたが、本県のやりかたを公共建築協会でも紹介したいというお話を聞き、大変うれしく思っております。

他県でも同じ助成金を受けて行った例があるので、講演会や単なる施設見学会に終始したとぞうです。本県の場合は、「まちなか探検隊」という施設見学会にも公共交通機関を利用し、さらにワークショップやシンポジウムを通して市民の生の声を吸い上げる形にしましたので、参考になる意見も多く出されました。建築的なもの見方や考え方についてもある程度理解していただけたと思えます。特に、普段は解放しな

いストックヤードを見学してもらったことで、建物利用者だけのスペースではないことを理解していただけたと思います。 みるように会員が丸くなって「技術力の向上・人づくり」に邁進してまいりますので、本年も相変わらぬご指導、ご支援をお願いいたします。 司会 長時間にわたり、貴重なお話をありがとうございました。新しい年を迎えて皆さんの活躍を祈念し、終了致します。

社会のニーズに応え 省エネに貢献する... **Aichi**

各種トランスの **愛知電機**
高圧スイッチの **大垣電機**

(発売元)
愛知電機商事(株) 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇

株式会社三菱電機ライフテック東北

福島支店 TEL(024)534-7121
郡山支店 TEL(024)959-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0211
会津支店 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL(0246)581-5811
FAX(0246)581-5688

東北ヤンマー株式会社
いわき支店

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージエネレーションシステム

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

本社 〒979-3131 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL(0246)25-6111 FAX 25-6101

営業所 白河 TEL(0248)27-3385代
須賀山 TEL(0248)72-7136代
郡山 TEL(024)923-3298代
会津 TEL(024)939-3081代
相馬 TEL(0242)28-2155代
原 TEL(0244)22-5105代
福島 TEL(0244)35-1234代
いわき TEL(024)546-3700代
南 TEL(024)553-1181代
米 TEL(0246)28-6111代
勿 TEL(0246)62-3122代

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・新潟県内 20ヶ所
住設建材営業所 福島県内 5ヶ所

和やかに友好深める

第6回国際交流フォーラム

文化の伝承をテーマに



ギョーザの皮づくり



中国篆刻文化を味わう(印かんづくり)

92名が友好深める

（社）福島県空調衛生工業業協会と（社）福島県電設業協会の合同主催により十二月五日(日)、飯坂ホテル兼楽で県内在住の外国人学識経験者や留学生の方々と交流を図りながら、民族文化と郷土の文化に触れる試みとして四つのイベントを企画し、このイベントを通して交流の中から、お互いに共通するものを見出し、行く機会の一つとしての第六回国際交流フォーラムを、外国人二十五名を含めた九十二名の

参加者で開催いたしました。二つの四イベントを内定。最初に、主催者挨拶で当協会の松崎勉会長が、「今回は仕事の性格から離れて民族文化と郷土の文化に触れる試みで行うことにより交流の輪が広がる」と語り、参加者全員にその流れを共有していただきました。

次に今回のフォーラム開催までの経過説明を福島県国際課の国際交流員であり、このフォーラムの協力委員の一人でもあるノーマン・イトンさんより、「今年八月に、フォーラムの今回の方向性と姿勢を小委員会検討したことから始まりました。第一に設備業に関連した内容にとらわれず、参加される外国人の方々の希望を取り入れた内容へ、そして参加者全員が気軽に楽しめる形へ方向性を決めました。その足掛かりとして県国際課の国際交流員の方々には最初から協力委員としての参加を要請し、国際交流員や福島大学留学生の方々を交えた企画会議を開催。九月の会議では外国が二つ、日本が



ノーマン・イトンさんによる経過説明

次に実行委員長の吉田富房氏より各イベントの説明があり、その中で各イベントのリーダーや指導を頂く方の紹介もありました。一つ目は、「マオリ族のポ



三春人形面の絵つけ



郷土玩具土湯こけしづくり

【次頁に続く】

参加者の代表が体験発表を行う

その後、場所を替えて「パティ」としては吉川芳晴さんよりの出来なかつた各イベントがあり、文字を彫るのにもその人のユニークさを出して「マオリ族のポイダンス」で彫っていく楽しさが味わえ、色んな人との交流が花を咲かせた。自分では「マオリ族のポイダンス」として初めて「こけし」を作ったのも体験出来て楽しかった。作ったこけしを「中国篆刻文

上六名と前に経過報告をして下さったノーマン・イトンさんのプロフィールを紹介いたしました。外国のイベントには日本人が、日本のイベントには外国人が配置され、各人、色々思いを込めて参加してました。イベントの時間も予定より三十分延長し熱を入れて行っていました。



マオリ族のポイダンス(パーティー)

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

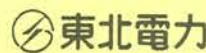
- | | | |
|--------|-----------------------|----------------|
| 福島事業本部 | 福島市泉字南谷地 5-6 | ☎(024)557-2177 |
| 福島事業所 | 福島市泉字南谷地 5-6 | ☎(024)557-2161 |
| 原町事業所 | 原町市高見町 2-106-5 | ☎(0244)22-3568 |
| 郡山事業所 | 郡山市富久山町久保田字田池 7-1 | ☎(024)932-6054 |
| 白河事業所 | 白河市東三坂山 2-47 | ☎(0248)22-6006 |
| いわき事業所 | いわき市好間町上好間字洞 42-11 | ☎(0246)36-1177 |
| 若松事業所 | 会津若松市町北町大字上荒久田字村北 147 | ☎(0242)32-3350 |
| 須賀川事業所 | 須賀川市大字西川字後田 78-5 | ☎(0248)72-9120 |

高断熱・高气密住宅には、

「全電化住宅」が最適です。

- キッチン=クッキングヒーター・安全、清潔、理想のキッチン
- 暖房=蓄熱式暖房・空気を汚さず24時間暖房
- 給湯=電気温水器・安全、静か、お湯がたっぷり

お問い合わせは、お近くの
東北電力へ



電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市若林区土樋97 TEL(022)225-7511(代)

- 福島営業所 福島市瀬上町字桜町 3丁目12-3 ☎(024)553-8551(代)
- 郡山営業所 郡山市大槻下町東52 ☎(024)961-6667(代)
- いわき営業所 いわき市好間町下好間鬼越47 ☎(0246)36-5533(代)
- 原町営業所 原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)
- 相馬営業所 相馬市榎本字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)

提案から、設計・施工、メンテまで

National/Panasonic

- | | | |
|-------|-----------|----------|
| 取扱い機器 | ●放送設備 | ●ホール音響設備 |
| | ●大型映像 | ●コンピューター |
| | ●ITVカメラ設備 | ●情報通信機器 |

東北松下システム(株)

福島支店 郡山市図景2丁目1番11号
TEL 024-923-1710

福島営業所 福島市西中央3丁目2番地の1
TEL 024-535-6116

会津営業所 会津若松市町北町大字始字深町10番地
TEL 0242-25-2776

技術と信用を誇る

電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

(販売元) 大然総業株式会社
(製造元) 大全電機株式会社

〒983 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022)288-0701(代) FAX(022)288-0705

春と秋、夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。

ツインアーク

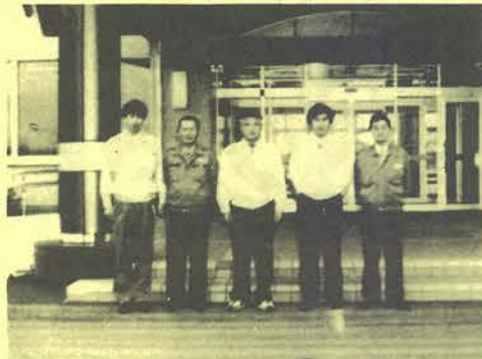
1つの外球バルブ内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの
2つの発光管を取った2色発光型T10ランプ「ツインアーク」誕生

EYE 岩崎電気株式会社

郡山営業所・☎(024)961-2292 F A X 61-2265
いわき事務所・☎(0246)23-1386 F A X 22-3716

先進地視察を実施

消防学校と合同庁舎



山形県消防学校の視察団



山口県の視察団(山口県消防学校にて)

【山形県消防学校】
十月二十一、二十二の両日は、技術委員会の高橋武、大室功向委員と福島電気施工管理技士の茅原邦利会長、紺野徳一、佐々木定好理事が平成十年一月に山形県消防学校に完成した山形県消防学校を視察した。

同校は、新たな消防基地として緊急時の拠点機能を併せ持つ最新の訓練・研究施設であり、敷地内には防災学習館が設置され消防士の育成だけでなく、県民の防災意識高揚

体験学習も可能な 新たな消防基地

当協会は、昨年十月に山形県消防学校と山口県消防学校におよび山口県岩国総合庁舎（シニア岩国）で先進地視察を行い報告書をまとめた。先進地視察は、他県の先進員が現地を訪れた。

施工面や維持管理 施設管理者から説明を受ける

施設を視察することで最新の設備の導入状況や施工における問題点を考察することを目的としているもので、三瓶良孝副会長と技術委員会の委員が現地を訪れた。

【前頁からの続き】
交流を図り、楽しく過ごして頂きたいと思います」と挨拶が行われ、続いて今日の講評と乾杯の音頭を、参加者の一人である上野修さんより頂きました。講評は、「各国の歴史ある文化を体験させて頂いて

てプロとの違い、歴史、伝統の奥深さを感じさせられました。時間があれば全イベントに参加したかったです。通常の情報伝達である書物とか映像と違っていて非常に良作で行ったという事が非常に良かったと思います。これからリ族のポイタンスを行い、カ

ナタ出身のノーマン・イートンさんによるカントリーワークスタウンを皆さんで踊りました。極めて三春の橋本川さんによる、海外でも披露されたひよっこ踊りで盛り上げて頂き、地元の特産品の取付等も入り各国の人々

々々楽しい一時を終えました。帰りに、外国の人にも日本の人も「また来年お会いしましょう」と言い残り、第六回国際交流フォーラムを終了しました。
(実行委員・新田一則記)

山形県消防学校の電気室
一行は、谷口勝義副校長兼総務課長の案内で各施設を回

った後、懇談を行い電気設備の充実度や管理状況などを取材した。同校では火災報知設備、中央監視設備および消防栓設備等を含め、校舎自体の付属設備を訓練に取り入れられる設備になっている。建物管理においては、中央管理システムおよびQR型火災報知設備により一層集中管理が実現しており、装置についても省スペースとなっている。電気設備においても証明スイッチ回路が小ブロックに区分けされており、省エネルギーに役立っている。今回の視察で特に注目されたのは訓練設備で、深さ四メートルの水難救助用プールをはじめ耐熱訓練室、暗視カメラが設置された耐熱訓練室などをはじめとする各種災害を想定した設備は大変興味深い視察となった。

「山口県岩国総合庁舎」
三瓶良孝副会長をはじめ、八巻正隆技術委員会副委員長、先崎元勝、渡部光一郎両技術委員は、昨年十月二十八日に、平成七年四月に業務を開始した山口県消防学校を視

察した。同校は山口市の南に位置し、県立警察学校とセミナーパークが道を挟んで建つという立地環境にある。消防職員および消防団員に対して近代的消防活動に対応できる訓練施設の充実と共に自主防災組織などに対する教育も施設の役割として位置づけられており、消防に対する知識と技能習得を図るとともに防災意識の高揚を図るための教育拠点となる場所を併せ持つ施設として計画された。

一行は、会議室で後内田雄副校長から説明を受けた後、施設内を視察した。電気設備の中では、外溝が耐塩仕様で施工されているが、外階段に設置されている照明設備に錆があったことは、山口県消防学校の懸念

気になるところ。電気設備のメンテナンスや用具および消耗品については電気室に整理整頓されており、また、メンテナンス業務は、施工業者発注で細かなバックアップ体制も整備されている。

太陽光を活用した照明設備など採用
山口県消防学校に引き続き、十月二十九日には三瓶副会長ら四人が山口県岩国総合庁舎・シニア岩国視察を行った。

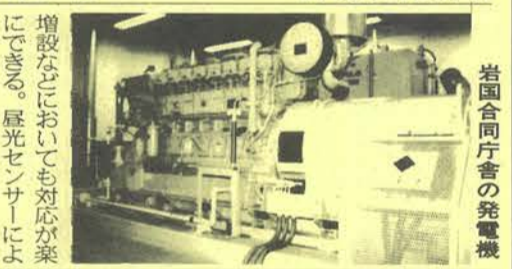
さらに太陽光発電システムを利用した共用部分の照明用補助電源の採用は、モニユメント（ソーラー時計・ソーラー噴水）へも導入されており、加えてクリーンエネルギーの採用は、「環境にやさしい建物」というイメージを県民にアピールしている。



一行は、県税事務所の金津洋雄次長と井本豊総務主査から施設の説明を受けた。総合庁舎における電気設備の特徴としては、維持・管理・メンテナンスの用意を考慮し、OA・高度情報通信など将来需要の変化に対応できる設備とスペースが確保されている。庁舎のほぼ中央部、階段室側に十分なP・S・E・P・Sが設置されており、幹線設備などは容易に施工されたと思われた。また、メンテナンスも

増設などにおいても対応が楽にできる。昼光センサーによりEVホール、談話コーナーなど共用部照明の自動消灯設備が設置されていた。

岩国合同庁舎の発電機
「山口県岩国総合庁舎」
山口県消防学校に引き続き、十月二十九日には三瓶副会長ら四人が山口県岩国総合庁舎・シニア岩国視察を行った。



協会の動き

- 【12月】
- 1日・第1回上級者研修会（正副会長、全技術委員、専務）ビッグバレットふくしま
 - 2日・建築設備工事東北ブロック会議（会長、専務）メルパルク仙台
 - 4日・技能五輪全国大会視察報告書作成業務（技術委員長、会津支部長、渡辺・中島技術委員、専務）協会会議室
 - 5日・第6回国際交流フォーラム「文化の伝承」（会長、佐藤副会長、各支部長、全広報委員、事務局）飯坂ホテル聚楽
 - 10日・第4回広報委員会（佐藤副会長、全広報委員、専務）協会会議室
 - 15日・第2回監事会中間監査（会長、佐藤会計理事、全監事、事務局）協会会議室
 - 第1回役員会（全役員）ホテル辰巳屋
 - 22日・新春座談会収録一電設新聞新春号掲載用（会長、佐藤副会長、専務）協会会議室
 - 25日・年末挨拶回り（会長、専務）県・関係団体
 - 佐藤佐久伊達郡・福島連合会後援会「知事を囲む忘年会」（会長）ホテル辰巳屋

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 高橋 実

福島市大森字宮ノ前54-5 | 〒960-8237
TEL (024) 546-1321 FAX (024) 546-1322

支店・営業所／東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工 場／山形・北海道千歳

配分電盤専門メーカー

営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤

福陽電機製作所

福島市天神町10番41号
TEL 024-534-1528 FAX 024-533-8590

電気技術総合コンサルタント!!
自家用電気施設のご相談に、お気軽に、ご相談下さい。

TEMA 社団法人東北電気管理技術者協会

協会本部／仙台市青葉区花京院二丁目11-11プレシージュ仙台ビル ☎(022)261-6015
福島支部／いわき市勿来町開田和久2-1 ☎(0246)64-8694
福島電気管理センター／福島市築谷字桜木37-4 ☎(024)557-5877
郡山電気管理センター／郡山市日和町字日向84-5 ☎(024)958-5203
会津電気管理センター／河沼郡河東町大字谷沢字十字53 ☎(0242)75-2518
原町電気管理センター／原町市神町一丁目157 ☎(0244)22-2817
白河電気管理センター／西白河郡東村大字釜子字北山68-3 ☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター／いわき市平字宮ノ前18 ☎(0246)21-9828

宮城電機

営業品目
屋内外閉鎖型配電盤・高低圧配電盤・直流電源装置
計装盤・空調・衛生中央監視盤・コントロールセンター
各種自動制御盤・分電盤・端子盤

郡山営業所／〒963-8025郡山市桑野4丁目2番2号
TEL (024) 939-2813・FAX (024) 939-2814
いわき営業所／〒970-8026いわき市平上荒川字安草48
TEL (0246) 28-1491・FAX (0246) 28-3662
本社・営業部／〒981-0924仙台市青葉区双葉ヶ丘一丁目45番8号
TEL (022) 234-3311・FAX (022) 234-3315

FURUKAWA 配電盤 制御システムメーカー

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024) 934-0859
FAX (024) 934-0861

本社：仙台市青葉区二丁目6-12
仙台工場：仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所：仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

照明器具・配線器具・開閉器・換気扇・配電機器
電線・電線管及び付属品・電設資材全般卸

地域と共に歩む

東北東芝電材株式会社

福島営業所 ☎(024) 553-4165
相馬営業所 ☎(0244) 36-8901
郡山営業所 ☎(024) 934-3065
須賀川営業所 ☎(0248) 72-7260